



2022年11月11日

各 位

上場会社名 丸大食品株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 勇二
 (コード番号 2288 東証プライム市場)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 加藤 伸佳
 (TEL 072-661-2518)

業績予想の修正及び配当予想の修正、特別利益（投資有価証券売却益）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議し、特別利益（投資有価証券売却益）を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	225,000	1,500	1,900	950	37.70
今回修正予想(B)	222,000	△1,200	△700	△500	△19.93
増減額(B-A)	△3,000	△2,700	△2,600	△1,450	
増減率(%)	△1.3	-	-	-	
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	218,610	△865	△380	△376	△14.88

(修正の理由)

急激な円安進行も加わり原材料価格やエネルギーコストが更なる上昇をするなかで、価格転嫁の遅れなどから採算が悪化し、本日公表しました当第2四半期累計期間の連結業績は非常に厳しい状況で推移いたしました。

通期の業績につきましては、外食産業向け業務用商品の需要に回復が見られることから、売上高につきましては前年を上回る見込みであります。

利益面につきましては、原材料価格やエネルギーコストの上昇が継続するなかで、合理化などの生産性向上に努めるものの、食料品や日用品など生活必需品の物価上昇から消費者の節約志向が一層高まるなか、製造コスト上昇分に対する価格転嫁の浸透に遅れが見込まれることから、後記の特別利益（投資有価証券売却益）の計上が見込まれるものの、各利益段階において前回予想を下回る見込みであります。

2. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2022年5月13日公表)	—	25.00	25.00
今回修正予想	—	20.00	20.00
当期実績	—	—	—
前期実績(2022年3月期)	—	30.00	30.00

(修正の理由)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の1つとして位置付けており、連結業績や財務状況等を総合的に勘案しつつ、安定配当を継続することを基本方針としております。

期末配当につきましては、1株につき25円を予想しておりましたが、2023年3月期の通期連結業績予想の修正（下方修正）を踏まえて1株につき20円の配当に修正させていただきます。

3. 特別利益（投資有価証券売却益）の計上について

（1）売却の理由 経営資源の効率化及び最適配分を図るため

（2）売却の時期 2023年3月末日までに完了

（3）売却の内容

① 売却資産の種類 当社保有上場有価証券 1銘柄

② 売却益（見込み） 約6億円

上記売却益の計上による業績影響につきましては、「1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正」に織り込んでおります。

※ 上記の予想は、発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上